

<荷物輸送・選手輸送についての解説>

【荷物輸送】

A 荷物= バッグなど大型の荷物。先頭競技者到着予想時刻の15分前までに荷物を中継線付近の「発荷物」看板表示のある場所にいる審判員（荷物係）に提出。→「荷物運搬車」（信毎）が運搬、次の中継点に届ける。

※A荷物については今まで通り全区間において荷物運搬車にて運搬する。荷物運搬車はレース帯より前を運行する。その競技者がレースを終え、次の中継点に到達した時点ではすでにそのA荷物も到着しているので本人が荷物係から受け取る。

B 荷物=競技直前まで身に着けていた小物類。一旦荷物係に提出するが、前区間の同チーム走者が受け取り、管理。

※B荷物については一旦荷物係に提出された後は各チームの管理となる。提出されたB荷物はその中継点に到達した前の区間の競技者が受け取り、以降管理する。自区間のレース終了後すぐに必要となるものはA荷物に入れておくよう注意のこと。

【選手輸送】

<例外区間・付添の動き>

女子区間・男子中学生区間、女子中学生区間については付添1名の選手収容バスへの乗車を認める。付添はその区間の選手のB荷物も管理すること。

■ 第1日目第3区（男子中学生区間・千曲八幡→若宮）における付添の動き

付添は、千曲八幡中継点に3区男子中学生選手とともに配置し、3区男子中学生選手のB荷物を預かる。武水別神社前に配車された「4号車」に乗車し、レース後、若宮中継点に向け移動、若宮中継点にてレースを終えた3区男子中学生選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、若宮中継点の荷物係から4区選手のB荷物を受け取り、同バスで秋和中継点に向かう。秋和中継点でレースを終えた4区選手も同バスに乗り、そのまま岡谷決勝点に向かう。（合計45名乗車）

■ 第1日目第5区（女子区間・秋和→上田）における付添の動き

付添は、秋和中継点に5区女子選手とともに配置し、5区女子選手のB荷物を預かる。清浄園駐車場に配車された「女子車」に乗車し、レース帯の後ろを上田中継点に向け移動、上田中継点にてレースを終えた5区女子選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、上田中継点の荷物係から6区選手のB荷物を受け取り、そのまま同バスにて岡谷決勝点に向かう。（合計30名乗車）

■ 第2日目第13区（女子中学生区間・松本→庄内）における付添の動き

付添は、松本出発点に13区女子中学生選手とともに配置し、13区女子選手のB荷物を預かる。松本市役所前駐車場に配車された「女子車B」に乗車し、レース帯の後ろを庄内中継点に向け移動、庄内中継点にてレースを終えた13区女子中学生選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、13区女子中学生選手も同バスに乗り、そのまま飯田決勝点に向かう。（合計30名乗車）

■ 第2日目第19区（女子区間・宮田→駒ヶ根）における付添の動き

付添は、宮田中継点に19区女子選手とともに配置し、19区女子選手のB荷物を預かる。宮田村役場駐車場に配車された「女子車A」に乗車し、レース帯の後ろを駒ヶ根中継点に向け移動、駒ヶ根中継点にてレースを終えた19区女子選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、19区女子選手も同バスに乗り、そのまま飯田決勝点に向かう。なお、次の20区男子中学生選手のB荷物は20区男子中学生選手付添の管理となる。（合計30名乗車）

■ 第2日目第20区（男子中学生区間・駒ヶ根→福岡）における付添の動き

付添は、駒ヶ根中継点に20区男子中学生選手とともに配置し、20区男子中学生選手のB荷物を預かる。駒ヶ根駅前ロータリーに配車された「3号車」に乗車し、レース帯の後ろを福岡中継点に向け移動、福岡中継点にてレースを終えた20区男子中学生選手（A荷物はこの時すでに受け取っている）と合流、福岡中継点の荷物係から21区選手のB荷物を受け取り、同バスで伊那大島中継点に向かう。伊那大島中継点でレースを終えた21区選手を乗せ、かつ22区選手のB荷物を積み込み、そのまま飯田決勝点に向かう。（合計45名乗車）

<参考>

- フィニッシュ地点に着くまで自分のB荷物を受け取れない区間・・・6区・9区・12区・17区・22区
- 次区間の自チーム選手のB荷物を受け取らなくていい区間・・・2区・4区・18区・19区